

経営比較分析表（令和6年度決算）

奈良県 三郷町

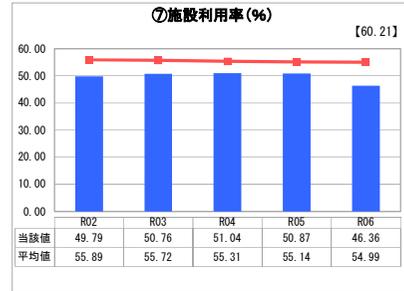
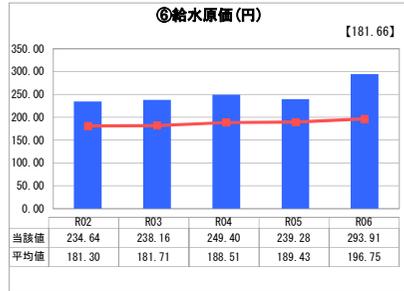
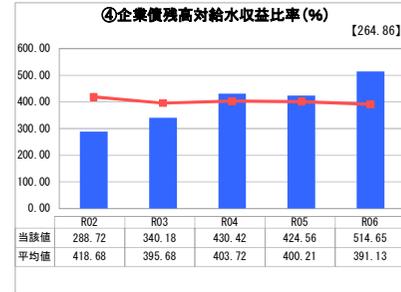
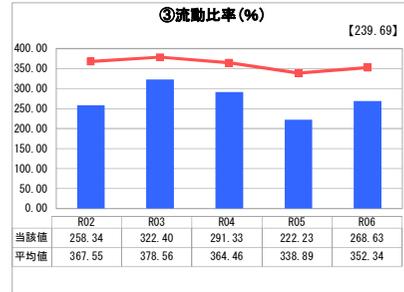
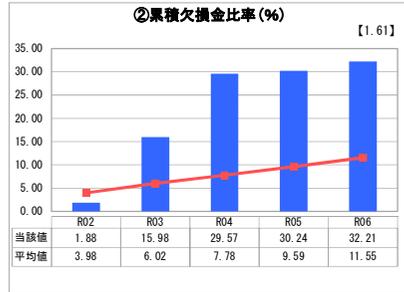
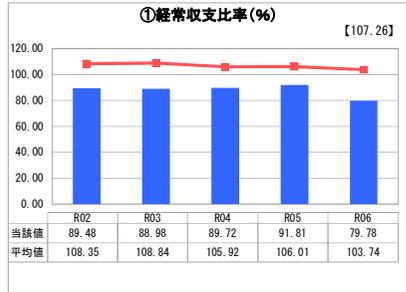
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	57.35	100.31	3,685	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,349	8.79	2,542.55
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
22,293	8.79	2,536.18

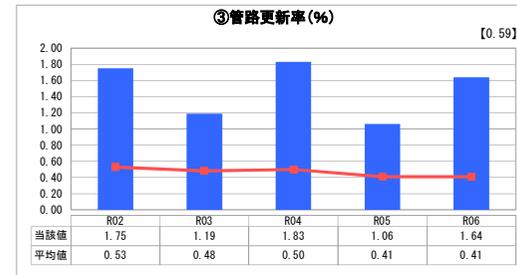
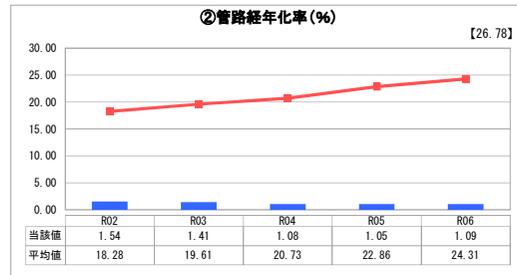
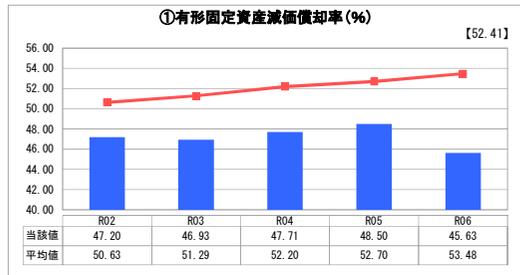
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度決算における経常収支比率をみますと、平成30年度から引き継ぎ赤字となっております。原因としては水需要の低下による料金収入の減少に加え今年度は奈良県広域水道企業団への事業統合による令和7年3月調定の調整(一部未計上)がありました。また三郷町への資産の移管により資産減耗費が増加し、累積欠損比率は増加しております。

流動比率においては令和5年度と比べ未払金残高が減少したことにより増加しており全国平均値以上の水準を維持しております。また、借入れを行いながら管路更新を進めていることから企業債残高対給水収益比率は増加しております。また、調定の調整の影響から料金回収率は減少しております。

給水原価においては全国平均値よりも高い状態にあります。昨年度までは大規模漏水による受水費の増加が原因としてあげられましたが、昨年度の対策工事による漏水解消により受水費は大幅に減少いたしました。しかしながら三郷町への資産の移管により資産減耗費が増加したことによる影響で結果として高くなりました。

施設利用率は大規模漏水の解消により配水量が減少したことから減少し、有収率の向上に繋がりました。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価却率については、令和6年度は減価償却を終えた資産を移管し管路更新による新規資産の取得により減少しており、全国平均値と比べ低い数値を推移しております。管路経年率においては横ばいの状態が続いております。

管路更新率は令和5年度は配水池の大規模な補修に重点をおいたため低い数値でとどまりましたが、令和6年度は管路更新を進めたため高い数値となりました。

全体総括

大規模漏水の解消の影響で受水費は減少しましたが、水需要の低下による料金収入の減少は続いており、それに加え今年度は奈良県広域水道企業団への事業統合による令和7年3月調定の調整(一部未計上)、また三郷町への資産の移管による資産減耗費の増加などで赤字になりました。

令和7年度から奈良県広域水道企業団へ事業統合されますが、引き続き計画的に管路更新をすすめながら将来を見据え状況に応じて検討をしていくものと考えております。